

令和２年度 介護保険施設における事故報告

施設名	死亡	誤嚥	転倒				転落		接触		薬に関する事故			離設	交通事故	原因不明			その他			合計
			骨折	裂傷	打撲	脳内出血	骨折	打撲	裂傷	打撲	誤薬	重複	飲み忘れ			骨折	打撲	裂傷	自己抜管	集団感染	火傷	
介護老人福祉施設	2	1	2	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4	3	1	0	0	1	19
介護老人保健施設	1	0	8	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	17
認知症対応型共同生活介護	1	0	14	4	1	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
（看護）小規模多機能型居宅介護	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	10
短期入所生活介護	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
通所型介護サービス	3	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10
有料・サ高住	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	7	2	36	7	2	1	4	1	3	0	5	0	0	5	2	11	3	1	0	0	1	91

【施設種別ごとの傾向】

通所型介護サービスにおいて死亡事故が発生した（交通事故・誤嚥性肺炎・誤嚥による窒息死）
認知症対応型共同生活介護施設での事故が一番多く、中でも転倒による事故が19件となっており、他の事故と比較しても多い
介護老人保健施設内で発生した事故総数17件のうち、14件が骨折による事故となっている
通所型介護サービス利用者の送迎中に交通事故が1件発生している

【事故種別ごとの傾向】

転倒による骨折が36件、転落による骨折が4件であった。また原因不明の骨折事故も11件となっており、骨折事故の合計は51件と非常に多い
薬に関する事故は、別の利用者の薬を誤って飲ませるという職員の確認不足から発生している
薬に関する事故の多くが、認知症対応型共同生活介護施設で発生している

【その他】

事故発生から報告まで1か月以上経過していた事業所があった
事業所によって事故発生から報告までのスピードが違う